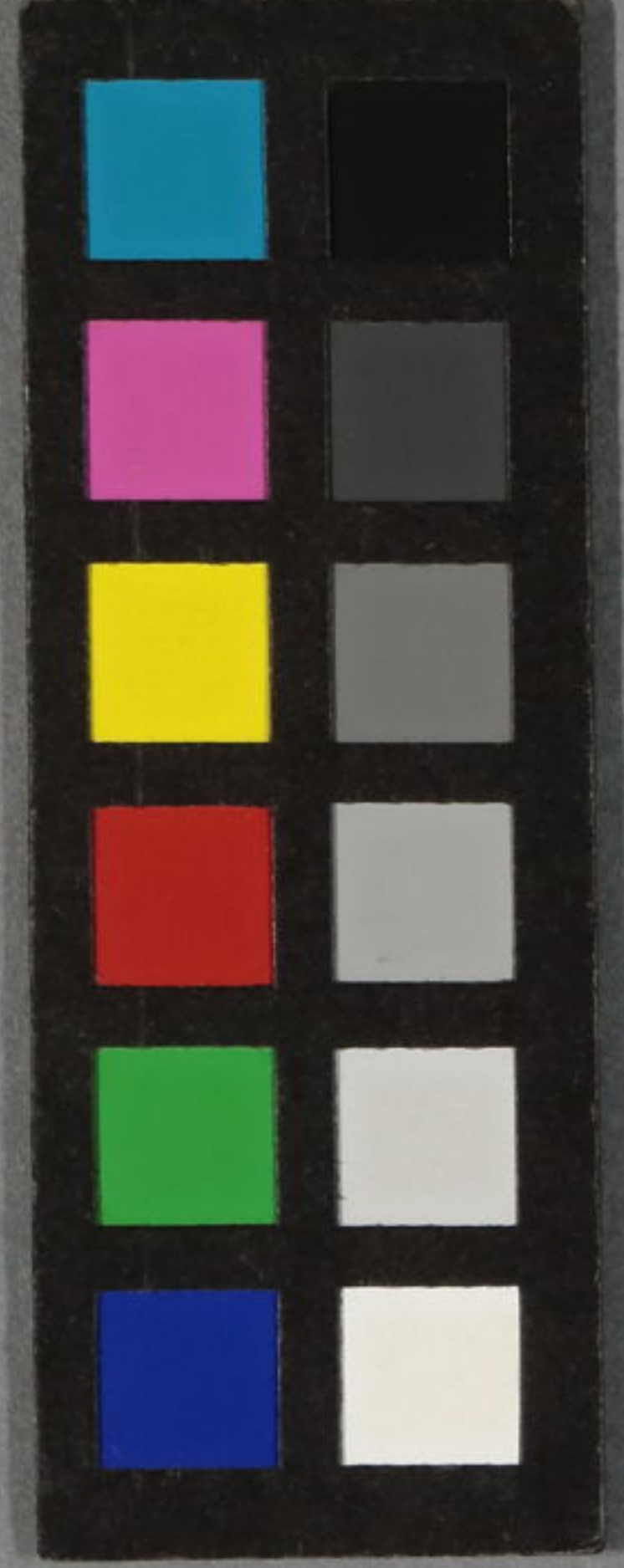


類題武苑野集 下



武藏野集下卷

急部

急

あまのりつりしものやまのちひさるる人のきこえられも	いとかく思ひまゝいしものやまのちひさるる人のきこえられも	いづみやがらの海くはなきこはれたるも鳥万巻られ	ゆきまの心まゝいしのきこえられも
正明	歌城	高之	顯忠
		文雄	礼本
		與清	祐之

初戀

まきからうかのこりねはいつちかきさるる無きすれ 正虎

いもあはれさうらふあはれさうらふあはれさうらふあはれ 高之

いもあはれさうらふあはれさうらふあはれさうらふあはれ 弁玉

いもあはれさうらふあはれさうらふあはれさうらふあはれ まむ子

いもあはれさうらふあはれさうらふあはれさうらふあはれ 東平

いもあはれさうらふあはれさうらふあはれさうらふあはれ 一也

いもあはれさうらふあはれさうらふあはれさうらふあはれ 行虎

いもあはれさうらふあはれさうらふあはれさうらふあはれ きん子

いもあはれさうらふあはれさうらふあはれさうらふあはれ 安雄

いもあはれさうらふあはれさうらふあはれさうらふあはれ りぢみ

共思戀

忍波戀

祈戀

依戀

誓戀

契戀

契初戀

共契戀

契不逢戀

詭戀

待戀

まきからうかのこりねはいつちかきさるる無きすれ 正虎

いもあはれさうらふあはれさうらふあはれさうらふあはれ 常典

いもあはれさうらふあはれさうらふあはれさうらふあはれ 歌城

いもあはれさうらふあはれさうらふあはれさうらふあはれ 延平

いもあはれさうらふあはれさうらふあはれさうらふあはれ 寛光

いもあはれさうらふあはれさうらふあはれさうらふあはれ ちとみ

いもあはれさうらふあはれさうらふあはれさうらふあはれ ゆつぎ

いもあはれさうらふあはれさうらふあはれさうらふあはれ つゆ子

いもあはれさうらふあはれさうらふあはれさうらふあはれ 正明

いもあはれさうらふあはれさうらふあはれさうらふあはれ 彦丸

連夜
待空戀

待空戀

不逢戀

詞和
不逢戀

逢戀

初逢戀

旅宿
逢戀
會後戀

末のねまらふよそらふ人のせしうふもあもん 政雄

今ふこころかたかりんまふいんやまをまらわんをれ 常子

とふひのふもあふんてねふにまふあふんが 秋子

目よしとふひのふもあふんをわんもあふんあふんの ひろ光

今ふたふもあふんてねふにまふあふんが 歌城

まらひふもあふんてねふにまふあふんが 守部

はれふもあふんてねふにまふあふんが 篤

あふんてねふにまふあふんが 顯忠

しまふもあふんてねふにまふあふんが 守文

あふんてねふにまふあふんが 重遠

戀二

あふんてねふにまふあふんが 桂子

あふんてねふにまふあふんが 一也

あふんてねふにまふあふんが 篤

あふんてねふにまふあふんが 三羽

あふんてねふにまふあふんが 行虎

あふんてねふにまふあふんが 井玉

あふんてねふにまふあふんが やまや

あふんてねふにまふあふんが いろみ

あふんてねふにまふあふんが 寛光

あふんてねふにまふあふんが 一也

逢後
増意

別意

五借
別意

帰意

後朝意

増意

あつし

高之

延平

まん子

顕忠

歌城

勝成

昌順

後切

高之

逐日
増意

閑居
増意

顕意

依波
顕意

絶後
顕意

稀意

依忌
稀意

忠年

忠雄

秀形

敏成

常典

高之

礼本

少みと

忠年

一也

切 慈 長帝

思 慈 やすと

益夜 思慈 東平

思慈 忠周

片 思 忠周

人 九

寛光

守緒

弁王

俊切

童胤

政雄

リ子

寛光

一也

長み

昌順

増子

増子

増子

増子

増子

増子

増子

増子

増子

増子

遠約 速察 臨期 遠約 速察 遇不 逢慈

白地意

白くもろくもりのつらみとあつちりたぢちとたせり

長帝

契変意

ちぢりつものこのまゝのねまゝまゝいひひきや

忠年

忘意

おひぢりつものやわらふことあはれはつたつた

正明

難忘意

かひいふ人のつらみとあつちりたぢちとたせり

忠礼

難忘意

わらふまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ

時得

難忘意

まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ

文城

わらふまゝまゝ

まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ

ひろ光

悔意

くしつものつらみとあつちりたぢちとたせり

正典

後悔意

あつちりたぢちとあつちりたぢちとあつちりたぢち

り子

五

絶意

絶つものつらみとあつちりたぢちとあつちりたぢち

高之

絶後意

あつちりたぢちとあつちりたぢちとあつちりたぢち

弁玉

絶久意

あつちりたぢちとあつちりたぢちとあつちりたぢち

きん子

眼絶意

あつちりたぢちとあつちりたぢちとあつちりたぢち

碧海

眼絶意

あつちりたぢちとあつちりたぢちとあつちりたぢち

敏成

再絶意

あつちりたぢちとあつちりたぢちとあつちりたぢち

帝子

氷心絶意

あつちりたぢちとあつちりたぢちとあつちりたぢち

きん子

則意

あつちりたぢちとあつちりたぢちとあつちりたぢち

高之

隠意

あつちりたぢちとあつちりたぢちとあつちりたぢち

永好

隔意

あつちりたぢちとあつちりたぢちとあつちりたぢち

夏蔭

隔山戀

午肝
無實戀

疑戀

返書戀

見
手跡戀

三年
不見書戀

恨戀

あひあひらまゝしるすもなつかしきものぞかひのめき

あはれみよしつたのやあはれみよしつたよきあはれみ

あはれみよしつたのやあはれみよしつたよきあはれみ

あはれみよしつたのやあはれみよしつたよきあはれみ

あはれみよしつたのやあはれみよしつたよきあはれみ

あはれみよしつたのやあはれみよしつたよきあはれみ

あはれみよしつたのやあはれみよしつたよきあはれみ

あはれみよしつたのやあはれみよしつたよきあはれみ

あはれみよしつたのやあはれみよしつたよきあはれみ

あはれみよしつたのやあはれみよしつたよきあはれみ

吾鬢

頭忠

弁玉

重遠

濱臣

帝子

高之

彦丸

歌城

行布

恨世戀

山家戀

行路戀

閑路戀

旅戀

近戀

遠戀

あはれみよしつたのやあはれみよしつたよきあはれみ

あはれみよしつたのやあはれみよしつたよきあはれみ

あはれみよしつたのやあはれみよしつたよきあはれみ

あはれみよしつたのやあはれみよしつたよきあはれみ

あはれみよしつたのやあはれみよしつたよきあはれみ

あはれみよしつたのやあはれみよしつたよきあはれみ

あはれみよしつたのやあはれみよしつたよきあはれみ

あはれみよしつたのやあはれみよしつたよきあはれみ

あはれみよしつたのやあはれみよしつたよきあはれみ

あはれみよしつたのやあはれみよしつたよきあはれみ

三羽

歌城

一也

三人子

長帝

正席

一ちり

金子

寛老

帝せむ

貧意

しんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

早白子

老後意

らごごしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

信行

みまごしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

曾子

幼意

こごしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

葛野

愚妨

ぐぼうしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

長岑

たけりてえんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

勝成

たかごしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

寛光

たかごしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

まん子

意憂喜

いゆうきしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

歳

無貴

むきしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

無貴

公有

こうゆうしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

まも子

被叱

ひびしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

長分

無實

むじつしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

勝成

人惡我

にんあくがしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

歌城

聰意

そういしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

あらし

あらししんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

夕意

ゆいしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

正明

薄暮意

はくぼいしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

智淨

春意

しゅんいしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

帯子

あらししんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげんしんげん

行席

花間
更續君

かゝるるをまじりてみればさかづきも
はやくと

夏 戀

まはるるをまじりてみればさかづきも
はやくと

夏
忍待戀

かゝるるをまじりてみればさかづきも
はやくと

秋 戀

かゝるるをまじりてみればさかづきも
はやくと

暮秋戀

かゝるるをまじりてみればさかづきも
はやくと

冬 戀

かゝるるをまじりてみればさかづきも
はやくと

寄天戀

かゝるるをまじりてみればさかづきも
はやくと

寄星戀

かゝるるをまじりてみればさかづきも
はやくと

寄月戀

かゝるるをまじりてみればさかづきも
はやくと

正明

寄雲戀

かゝるるをまじりてみればさかづきも
はやくと

春門

寄烟戀

かゝるるをまじりてみればさかづきも
はやくと

秋子

寄霞戀

かゝるるをまじりてみればさかづきも
はやくと

戊申

寄春月
戀

かゝるるをまじりてみればさかづきも
はやくと

歌城

寄春雨
戀

かゝるるをまじりてみればさかづきも
はやくと

常子

寄雨戀

かゝるるをまじりてみればさかづきも
はやくと

正明

寄五月雨
戀

かゝるるをまじりてみればさかづきも
はやくと

三羽

寄時雨
戀

かゝるるをまじりてみればさかづきも
はやくと

高之

寄霰戀

かゝるるをまじりてみればさかづきも
はやくと

梅軒

寄雪意

雪のふりしるすはなほ雪のふりしるす

篤辰

寄露意

露のたれしるすはなほ露のたれしるす

らりー

寄秋風

秋風のふりしるすはなほ秋風のふりしるす

らやと

寄山意

山のふりしるすはなほ山のふりしるす

りり子

寄関意

関のふりしるすはなほ関のふりしるす

歌城

寄梅意

梅のふりしるすはなほ梅のふりしるす

智淨

寄田意

田のふりしるすはなほ田のふりしるす

正明

寄杜意

杜のふりしるすはなほ杜のふりしるす

正範

寄井意

井のふりしるすはなほ井のふりしるす

寛光

寄湊意

湊のふりしるすはなほ湊のふりしるす

頭忠

寄濱意

濱のふりしるすはなほ濱のふりしるす

篤辰

寄磯意

磯のふりしるすはなほ磯のふりしるす

寛光

寄嶋意

嶋のふりしるすはなほ嶋のふりしるす

やし子

寄江意

江のふりしるすはなほ江のふりしるす

正範

寄湖意

湖のふりしるすはなほ湖のふりしるす

古風

寄海意

海のふりしるすはなほ海のふりしるす

勝成

寄河意

川のふりしるすはなほ川のふりしるす

頭忠

寄洲意

洲のふりしるすはなほ洲のふりしるす

歌城

寄洲意

洲のふりしるすはなほ洲のふりしるす

まい子

寄花戀

あはれなる花の恋はさかづき

長乃

あはれなる花の恋はさかづき

桂路

寄紅葉

恋

あはれなる花の恋はさかづき

元城

寄松戀

あはれなる花の恋はさかづき

車典

寄柳戀

あはれなる花の恋はさかづき

頭忠

寄草戀

あはれなる花の恋はさかづき

はつし

寄篠戀

あはれなる花の恋はさかづき

定保

寄竹戀

あはれなる花の恋はさかづき

行布

寄薄戀

あはれなる花の恋はさかづき

忠一

寄管戀

あはれなる花の恋はさかづき

三羽

寄鳥戀

あはれなる花の恋はさかづき

東平

寄鶴戀

あはれなる花の恋はさかづき

為臣

寄鷹戀

あはれなる花の恋はさかづき

長帝

寄獸戀

あはれなる花の恋はさかづき

小みと

寄由戀

あはれなる花の恋はさかづき

増子

寄蟬戀

あはれなる花の恋はさかづき

高之

寄蛙戀

あはれなる花の恋はさかづき

梅軒

寄魚戀

あはれなる花の恋はさかづき

勝成

あはれなる花の恋はさかづき

弁玉

寄貝戀

中一日ハトクハクダシクソノレトクハトクハトクハ

智淨

寄方戀

カクハトクハトクハトクハトクハトクハトクハ

也十

寄箭戀

カクハトクハトクハトクハトクハトクハトクハ

何し

寄照射戀

カクハトクハトクハトクハトクハトクハトクハ

一也

寄玉戀

カクハトクハトクハトクハトクハトクハトクハ

度丸

寄鏡戀

カクハトクハトクハトクハトクハトクハトクハ

トナリ

寄鞠戀

カクハトクハトクハトクハトクハトクハトクハ

及し

寄琴戀

カクハトクハトクハトクハトクハトクハトクハ

ひと丸

寄苗戀

カクハトクハトクハトクハトクハトクハトクハ

行市

寄苗戀

カクハトクハトクハトクハトクハトクハトクハ

みと子

寄葉戀

カクハトクハトクハトクハトクハトクハトクハ

ゆゑ

寄笠戀

カクハトクハトクハトクハトクハトクハトクハ

徳風

寄食戀

カクハトクハトクハトクハトクハトクハトクハ

定保

寄筆戀

カクハトクハトクハトクハトクハトクハトクハ

鶴子

寄墨戀

カクハトクハトクハトクハトクハトクハトクハ

弁玉

寄繪戀

カクハトクハトクハトクハトクハトクハトクハ

永好

寄書戀

カクハトクハトクハトクハトクハトクハトクハ

秋子

寄紙戀

カクハトクハトクハトクハトクハトクハトクハ

阿久

寄扇戀

カクハトクハトクハトクハトクハトクハトクハ

顯忠

寄糸戀

カクハトクハトクハトクハトクハトクハトクハ

智淨

正席
 寛光
 歌城
 忠
 歌城
 梅軒
 ひろ光
 顯忠

雜部

天 寛光
 天象 顯忠
 日 舟部
 朝如鏡 高之
 星 正席
 雲 貞臣
 閑路雲 眞臣
 嶺上雲 篤
 烟 正席

遠村烟

あはれなる煙のたふさぐはなはな

定良

海辺烟

あはれなる煙のたふさぐはなはな

俊功

雨

あはれなる雨のたふさぐはなはな

増子

まき川に雲の中一掃風のあは

あはれなる雲の中一掃風のあは

勝成

棧路雨

あはれなる雨のたふさぐはなはな

清々

暮山雨

あはれなる暮山の雨のたふさぐはなはな

武臣

山中雨

あはれなる山中の雨のたふさぐはなはな

長常

雨中人

あはれなる雨の中人のたふさぐはなはな

長岑

竹窓
夜雨

あはれなる竹窓の夜雨のたふさぐはなはな

春門

虹

あはれなる虹のたふさぐはなはな

寛光

塵

あはれなる塵のたふさぐはなはな

守部

雨後風

あはれなる雨後の風のたふさぐはなはな

正布

谷風

あはれなる谷風のたふさぐはなはな

高之

曉

あはれなる曉のたふさぐはなはな

定信

朝

あはれなる朝のたふさぐはなはな

頭忠

夕

あはれなる夕のたふさぐはなはな

俊功

夕幽思

夕の思ふはまきのあかきしにしののちふせきあり

歌城

半山
無夕陽

しらけんかきくたてのゆめおちるのよるはついでに

はるを

夜

おぼいしにのちの思ふはまきのあかきしにしののちふせきあり

游清

山

あしはるの思ふはまきのあかきしにしののちふせきあり

定保

山

あしはるの思ふはまきのあかきしにしののちふせきあり

長岑

薄暮山

あしはるの思ふはまきのあかきしにしののちふせきあり

秋子

富士山

あしはるの思ふはまきのあかきしにしののちふせきあり

武臣

富士山

あしはるの思ふはまきのあかきしにしののちふせきあり

寛光

富士山

あしはるの思ふはまきのあかきしにしののちふせきあり

濱臣

富士山

あしはるの思ふはまきのあかきしにしののちふせきあり

幸典

富士山

あしはるの思ふはまきのあかきしにしののちふせきあり

敏成

富士山

あしはるの思ふはまきのあかきしにしののちふせきあり

速光

富士山

あしはるの思ふはまきのあかきしにしののちふせきあり

篤

富士山

あしはるの思ふはまきのあかきしにしののちふせきあり

篤

富士山

あしはるの思ふはまきのあかきしにしののちふせきあり

守緒

富士山

あしはるの思ふはまきのあかきしにしののちふせきあり

守緒

富士山

あしはるの思ふはまきのあかきしにしののちふせきあり

貞臣

富士山

あしはるの思ふはまきのあかきしにしののちふせきあり

守部

富士山

あしはるの思ふはまきのあかきしにしののちふせきあり

守部

富士山

あしはるの思ふはまきのあかきしにしののちふせきあり

蓮阿

拙

圃

関

関路雲

野

残翅関

原

杜

道

とく人のいふたはむすむすのうらむすもまはたみえる 正市

いふむすむすのうらむすもまはたみえる 正市

むすむすのうらむすもまはたみえる 高之

はらむすむすのうらむすもまはたみえる 高之

松のいれちりけむすむすのうらむすもまはたみえる 日善

むすむすのうらむすもまはたみえる 一也

むすむすのうらむすもまはたみえる 敏成

むすむすのうらむすもまはたみえる 小久

あまむすむすのうらむすもまはたみえる 正市

むすむすのうらむすもまはたみえる 政雄

撫路日暮

水

上善如水

晴後速水

磯浪

磯浪

流子のたし

いふむすむすのうらむすもまはたみえる 三公子

むすむすのうらむすもまはたみえる 濱臣

いふむすむすのうらむすもまはたみえる 常子

いふむすむすのうらむすもまはたみえる 逸光

いふむすむすのうらむすもまはたみえる 小久

度の仲のむすむすのうらむすもまはたみえる 亜元

いふむすむすのうらむすもまはたみえる 三公子

いふむすむすのうらむすもまはたみえる 成申

いふむすむすのうらむすもまはたみえる 顯忠

瀧

名所龍

いよのしんりふまかろてあいのまみんゆへなりのたき

正明

河

ふんじつのおかたふちふたにゆかぬの流いおしん

一也

ゆらゆらけいけいのおよまふんやあかふたあふれすら

茂々々

なまりのみせふんのあつほりさつみかろふたせせ

重胤

いよのしんりふまかろてあいのまみんゆへなりのたき

蓮阿

名所河

むせれなむいんたのふゆのふゆふゆふゆふゆふゆ

らつ々

長河

いよのしんりふまかろてあいのまみんゆへなりのたき

たつ々

河

いよのしんりふまかろてあいのまみんゆへなりのたき

逸光

眺望

いよのしんりふまかろてあいのまみんゆへなりのたき

正明

海

いよのしんりふまかろてあいのまみんゆへなりのたき

氏壽

いよのしんりふまかろてあいのまみんゆへなりのたき

日善

浦

いよのしんりふまかろてあいのまみんゆへなりのたき

顯忠

名所瀆

いよのしんりふまかろてあいのまみんゆへなりのたき

歌城

いよのしんりふまかろてあいのまみんゆへなりのたき

名所崎

いよのしんりふまかろてあいのまみんゆへなりのたき

大校 匡胤

磯

いよのしんりふまかろてあいのまみんゆへなりのたき

清々々

島

いよのしんりふまかろてあいのまみんゆへなりのたき

敏成

夕陽

いよのしんりふまかろてあいのまみんゆへなりのたき

顯忠

映島

いよのしんりふまかろてあいのまみんゆへなりのたき

顯忠

湖	ていばらふののまにんていばらふののまにんていばらふののまにん	正	正
池	ちけいふののまにんちけいふののまにんちけいふののまにん	正	正
井	いけいふののまにんいけいふののまにんいけいふののまにん	正	正
名所	なしょふののまにんなしょふののまにんなしょふののまにん	一	一
橋	はしふののまにんはしふののまにんはしふののまにん	茂	茂
名所橋	なしょはしふののまにんなしょはしふののまにんなしょはしふののまにん	増	増
里	りふののまにんりふののまにんりふののまにん	高	高
	みやこおりのりふ	顯	顯

市	いちふののまにんいちふののまにんいちふののまにん	正	正
朝市	あしちふののまにんあしちふののまにんあしちふののまにん	寛	寛
都	とふののまにんとふののまにんとふののまにん	幸	幸
禁中	きんちゆうののまにんきんちゆうののまにんきんちゆうののまにん	忠	忠
仙家	せんけふののまにんせんけふののまにんせんけふののまにん	茂	茂
故宮	こきゆうののまにんこきゆうののまにんこきゆうののまにん	重	重
故都	ことふののまにんことふののまにんことふののまにん	正	正
	せいめい	正	正

山家の歌のまじりてはなれぬ心はなほ
哉

田家 題忠

あはれなる心はなほなほなほなほなほ
高之

田家 濱臣

あはれなる心はなほなほなほなほなほ
濱臣

田家 定信

あはれなる心はなほなほなほなほなほ
定信

山家 一也

あはれなる心はなほなほなほなほなほ
一也

山家 光房

あはれなる心はなほなほなほなほなほ
光房

山家 逸光

あはれなる心はなほなほなほなほなほ
逸光

馬島 子ん子

山家 幸典

あはれなる心はなほなほなほなほなほ
幸典

山家 祐之

あはれなる心はなほなほなほなほなほ
祐之

山家 ゆき久

あはれなる心はなほなほなほなほなほ
ゆき久

山家 勝成

あはれなる心はなほなほなほなほなほ
勝成

山家 素行

あはれなる心はなほなほなほなほなほ
素行

Handwritten text in Kuzushiji script, likely a name or title.

Handwritten text in Kuzushiji script.

Handwritten text in Kuzushiji script.

Handwritten text in Kuzushiji script.

Handwritten text in Kuzushiji script.

Handwritten text in Kuzushiji script.

Handwritten text in Kuzushiji script.

遣唐使

Handwritten text in Kuzushiji script.

族

Handwritten text in Kuzushiji script.

Handwritten text in Kuzushiji script.

Handwritten text in Kuzushiji script.

Handwritten text in Kuzushiji script.

羈族

Handwritten text in Kuzushiji script.

Handwritten text in Kuzushiji script.

Handwritten text in Kuzushiji script.

Handwritten text in Kuzushiji script.

Handwritten text in Kuzushiji script.

羈中
晚崩

Handwritten text in Kuzushiji script.

Handwritten text in Kuzushiji script.

冬族

Handwritten text in Kuzushiji script.

Small handwritten mark or character.

海辺旅

はらばらうらうらすれりちるる松ぞちをけうらる 高之

旅宿

いさしーいさしあふるねいさしあひのゆるいまれ 歌城

旅宿燈

いさしあひかーいさしのま松あひあへともあひあひあ 一也

旅行

いさしあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあ 真春

旅行夕

いさしあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあ 高之

夜旅行

いさしあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあ 歌城

山路旅行

いさしあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあ 勝成

山路旅行

いさしあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあ 貞臣

いさしあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあ

いさしあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあ 千列

いさしあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあ

いさしあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあ 宜風

いさしあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあ

いさしあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあ 八穂

旅泊

いさしあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあ 高之

たのしみたてふよきまのこころをわらうはるのさかへに梅のつらさ

旅泊夢 しまりの舟ははるばるのさかへに梅のつらさ 行旅

海路 さるへいよもはるばるのさかへに梅のつらさ 梅軒

海路 けん舟ちんのかみわらうはるのさかへに梅のつらさ 正範

日暮 けん舟ちんのかみわらうはるのさかへに梅のつらさ 正範

↑つらさのふか十一九里はるのさかへに

おのひれにやまのこころをわらうはるのさかへに 随翁

眺望 旅客 まるい人のまはりのさかへに梅のつらさ 真春

眺望 まるい人のまはりのさかへに梅のつらさ 真春

まるい人のまはりのさかへに梅のつらさ 真春

木 さるのさかへに梅のつらさ 正明

さるのさかへに梅のつらさ 正明

さるのさかへに梅のつらさ 正明

松 ねのこころをわらうはるのさかへに梅のつらさ 氏壽

ねのこころをわらうはるのさかへに梅のつらさ 氏壽

嶺上松 母のこころをわらうはるのさかへに梅のつらさ 元城

洞松 まるい人のまはりのさかへに梅のつらさ 清々

海辺松 うるさきいよもはるばるのさかへに梅のつらさ 幸典

岡庭松 せんむつりかむるはるのさかへに梅のつらさ 長儀

松経年 せんむつりかむるはるのさかへに梅のつらさ 歌城

松樹
年久

まわらうあつたおの老ふりうねとつれをまぢりてせん

はまのえれをのちねくしてたりあひくはせしうらり

名所松

いづしきまふむしうらりしうらつのはねらまきひひかり

相

まふむしうらりてけくくふくふくあつたあひくはせし

杉

世の人をたれまぢひのせきしひらねむいのはまのえれ

門杉

まふむしうらりてけくくふくふくあつたあひくはせし

竹

まふむしうらりてけくくふくふくあつたあひくはせし

竹

まふむしうらりてけくくふくふくあつたあひくはせし

竹露

まふむしうらりてけくくふくふくあつたあひくはせし

雨澤
暮簷所

まふむしうらりてけくくふくふくあつたあひくはせし

なんふ

まふむしうらりてけくくふくふくあつたあひくはせし

篠風

まふむしうらりてけくくふくふくあつたあひくはせし

岡篠

まふむしうらりてけくくふくふくあつたあひくはせし

芝

まふむしうらりてけくくふくふくあつたあひくはせし

路芝

まふむしうらりてけくくふくふくあつたあひくはせし

江菅

まふむしうらりてけくくふくふくあつたあひくはせし

葎

まふむしうらりてけくくふくふくあつたあひくはせし

蓼

まふむしうらりてけくくふくふくあつたあひくはせし

とんえ

ゆつこ

頭忠

夏うら

井玉

茂うら

巖

長みゆ

やまを

定保

勝成

政徳

寛光

守部

高之

真清

清うら

茂うら

歌城

まむ子

苔

いさのしんせうかきんせうのちりい苔の石のちりり

敏成

巖頭苔

あきけれたかきんせうのちりい苔の石のちりり

茂三

石上苔

あきけれたかきんせうのちりい苔の石のちりり

游清

鳥

あきけれたかきんせうのちりい苔の石のちりり

梅軒

河辺鳥

あきけれたかきんせうのちりい苔の石のちりり

清三

鶴

あきけれたかきんせうのちりい苔の石のちりり

長峯

水辺鶴

あきけれたかきんせうのちりい苔の石のちりり

早典

浦鶴
鳴月

あきけれたかきんせうのちりい苔の石のちりり

手ん子
寛光

鷲

あきけれたかきんせうのちりい苔の石のちりり

梅軒

鷄

あきけれたかきんせうのちりい苔の石のちりり

有藤

曉更鷄

あきけれたかきんせうのちりい苔の石のちりり

頭忠

鷄合

あきけれたかきんせうのちりい苔の石のちりり

後切

鴉

あきけれたかきんせうのちりい苔の石のちりり

増子

あきけれたかきんせうのちりい苔の石のちりり

弁玉

夕鴉

あきけれたかきんせうのちりい苔の石のちりり

歳
梅軒

鳥 鷄 鶯 雀 虎 狼 牛 馬

勝成
 清ツバ蔭
 敏成
 歌城
 定信
 智淨
 敏成
 正典
 正雄
 敏成

犬 玃 兔 狸 猿 猫 鼠 海驢 子

正席
 頭忠
 梅軒
 勝成
 昌順
 歲
 弁玉
 德風
 寬亮
 秋子

蛛

ちかむのうまむなむかたあそびにやとるまむら

游清

蝸牛

かろくろのうまむなむかたあそびにやとるまむら

清彦

不考と一語のこゝろ

電

いそぎあそびにやとるまむら

時得

蟹

あそびにやとるまむら

彦九

鯛

あそびにやとるまむら

游清

文書

あそびにやとるまむら

高之

史

あそびにやとるまむら

顯忠

披書
逢昔

あそびにやとるまむら

敏成

詠史

あそびにやとるまむら

正席

書

あそびにやとるまむら

穎則

歌

あそびにやとるまむら

正明

画

あそびにやとるまむら

典清

歌

あそびにやとるまむら

寛光

歌

あそびにやとるまむら

幸典

歌

あそびにやとるまむら

秀起

歌

あそびにやとるまむら

秀起

筆

あつちの筆のあつちの筆のあつちの筆のあつちの筆

高之

あつちの筆のあつちの筆のあつちの筆のあつちの筆

夏之

筆

あつちの筆のあつちの筆のあつちの筆のあつちの筆

あつち

筆
人

あつちの筆のあつちの筆のあつちの筆のあつちの筆

寛光

硯

あつちの筆のあつちの筆のあつちの筆のあつちの筆

敏成

札

あつちの筆のあつちの筆のあつちの筆のあつちの筆

顯忠

紙

あつちの筆のあつちの筆のあつちの筆のあつちの筆

弁玉

琴

あつちの筆のあつちの筆のあつちの筆のあつちの筆

政徳

和琴

あつちの筆のあつちの筆のあつちの筆のあつちの筆

游清

あつちの筆のあつちの筆のあつちの筆のあつちの筆

あつちの筆のあつちの筆のあつちの筆のあつちの筆

秋子

篳篥

あつちの筆のあつちの筆のあつちの筆のあつちの筆

正希

高麗笛

あつちの筆のあつちの筆のあつちの筆のあつちの筆

游清

管絃

あつちの筆のあつちの筆のあつちの筆のあつちの筆

歌城

喜

あつちの筆のあつちの筆のあつちの筆のあつちの筆

寛光

あつちの筆のあつちの筆のあつちの筆のあつちの筆

やま

あつちの筆のあつちの筆のあつちの筆のあつちの筆

あつちの筆のあつちの筆のあつちの筆のあつちの筆

梅軒

酒

あつちの筆のあつちの筆のあつちの筆のあつちの筆

正明

舟五

太刀 寛光

さや 顯忠

弓 くらり

箭 正典

火炮 歌城

鐘 一也

夕鐘 弁玉

野亭 昌順

間鐘

風鈴 篤

玉 游清

かゝのふちり

金 守結

石 正布

巖 氏壽

巖 時得

巖 顯忠

枕 くらり

烏帽子 弁玉

衣 帯 綾 綿 蚊 帳 裯 杖 燈 雨 中 燈

ききをとりのみ... 衣
その帯のういて... 帯
まてぬと平... 綾
おちをもち... 綿
まの帯... 蚊帳
あつとむ... 裯
三月の... 杖
とりに... 燈
か... 雨中燈

高之 寛光 頭忠 秋子 顯忠 敏成 茂ウタ 游清 夏ウタ みつと

閑中燈 燈下 夜話

車 船

釣舟 岸頭 待舟 船裏 曉風寒

青

か... 閑中燈
... 燈下
... 夜話
... 車
... 船
... 釣舟
... 岸頭
... 待舟
... 船裏
... 曉風寒
か... 青

三子 茂々 敏成 正路 正布 匡胤 幸典 川つさ 顯忠 歌城

黄

色つらきうらなむらさき 柳のつらきもつらなる

游清

赤

あかきあかきあかきあかき 赤きあかきあかきあかき

正師

白

あはれあはれあはれあはれ 白きあはれあはれあはれ

智淨

黒

くろくろくろくろくろくろ 黒きくろくろくろくろくろ

徳風

高

たかねたかねたかねたかね 高きたかねたかねたかね

時得

明

あきあきあきあきあき 明きあきあきあきあき

てん子

茅橋姫命

あはれあはれあはれあはれ 茅橋姫命あはれあはれ

秋子

清麻呂

あきあきあきあきあき 清麻呂あきあきあきあき

鳥

浦島子

あはれあはれあはれあはれ 浦島子あはれあはれ

永切

末珠石

あはれあはれあはれあはれ 末珠石あはれあはれ

歌城

阿部晴明

あべの晴明あべの晴明あべの晴明あべの晴明

彦九

赤人

あかあかあかあかあか 赤人あかあかあかあか

顕忠

在五中將

あきあきあきあきあき 在五中將あきあきあきあき

三羽

喜撰法師

あきあきあきあきあき 喜撰法師あきあきあきあき

長みね

檜垣堰

あきあきあきあきあき 檜垣堰あきあきあきあき

歌城

紫式部

あきあきあきあきあき 紫式部あきあきあきあき

彦九

清心納言

あきあきあきあきあき 清心納言あきあきあきあき

弁玉

義家朝臣

あきあきあきあきあき 義家朝臣あきあきあきあき

長峯

安部真人

あきあきあきあきあき 安部真人あきあきあきあき

氏壽

頼政卿

あきあきあきあきあき 頼政卿あきあきあきあき

歌城

頼朝卿

よりのはのほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

茂々々

義 経

やーいふらふのほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

三公子

平判官

仲つれあつたものよふらふらつちのつちまつてはらりーん

弁玉

常 磐

いふらふのよふらふのほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

文雄

祇 王

よのよふらふのほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

游清

祇 女

よのよふらふのほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

歌城

小督乃

ふらふのほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

勝成

静御前

ふらふのほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

頭忠

景 時

ふらふのほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

永好

西 行

ふらふのほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

歌城

西のほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

日 蓮

ふらふのほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

歌城

大塔宮

ふらふのほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

彦九

藤房卿

ふらふのほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

弁玉

義 貞

ふらふのほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

重胤

正 成

ふらふのほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

長子

名 和

ふらふのほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

重遠

村 上

ふらふのほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

礼弁

日 野

ふらふのほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

氏壽

熊若丸

ふらふのほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

俊功

と 枝

ふらふのほむはしつちいふらふのいひむかひのたん

篤信

花亭
若紫
朱雀院
朧月夜
君
髭黒
大臣
大公望
伯才
孟舟
王昭君
上陽人

みゆひらふらむとてかたさへもよむひらふちあり月よ
むすねのおもひにふかきねもさうかきそほく志こころ
まゆまのまゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
ほそひのちある月夜のみちをてにさき家のまやあき
林のまゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
いりまゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
あひまゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
まゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
あひまゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
まゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり

氏壽
政雄
彦丸
秋子
景寛
篤
みつと
政徳
顕忠
寛光

渡易水歌

三平二満

少年行

白髮
三十九

民

親

父

母

老

わんつらんまゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
万代のまゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
つらなまゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
ほろひまゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
まゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
まゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
まゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
まゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
まゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
まゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
まゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
まゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
まゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
まゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
まゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
まゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
まゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
まゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
まゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
まゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり
まゆあふまひにふかきねもよむひらふちあり

歌城
彦丸
氏壽
長峯
高之
夏々々
守部
長子
梅軒
彦丸

子

あまのこ

弁玉

捨子

あまのこ

正雄

牧童

あまのこ

篤

身

あまのこ

重胤

髮

あまのこ

寛光

齒

あまのこ

梅軒

漁父

あまのこ

ゆづ

白水郎

あまのこ

正明

輕業師

あまのこ

さん子

隱士
高山

あまのこ

梅軒

市中
隱士

あまのこ

穎則

暮山
僧歸

あまのこ

守文

道女

あまのこ

帯子

花女

あまのこ

正典

中書

あまのこ

歌城

左義長

あまのこ

時得

あまのこ

幽霊

幽霊の霊魂は死後も存在し、生前の行いを監視し、善悪を判断する。悪行を犯した者は地獄に落ち、善行を積んだ者は天国に行く。

歌城

心

心は人間の魂であり、思考や感情の中心。心は常に動いており、人間の行動を決定する。

寛光

夢

夢は人間の意識が休息しているときに生じる。夢は現実の延長であり、時には現実よりも面白い世界を提示する。

濱臣

世路
如夢

世路は人生の道であり、夢のように儚く短い。世路は常に変化しており、人は常にそれに適応しなければならない。

行布

述懐

述懐は過去の出来事や人々を振り返り、その意義や教訓を語ること。述懐は心を落ち着かせ、人生の歩みを振り返る機会を提供する。

とる臣

とる臣は、かつての戦国武将であり、その勇武と忠義が後世に語り継がれている。とる臣の物語は、多くの人々の心を打動している。

歌城

歌城は、その美しい風景と豊かな文化で知られている。歌城は、多くの人々を魅了し、訪れる価値のある場所である。

畿

畿は、日本の中心地であり、その歴史と文化は古くから栄えている。畿は、日本の発展と繁栄の中心地である。

遠光

遠光は、遠くから照りつける光であり、希望や理想を象徴している。遠光は、人々を勇気づけ、前進を促す力を持っている。

碧海

清うた

頭忠

梅軒

行布

延平

夕つと

昌順

秋子

り子

敏成

獨述懐

老後
述懐

寄河
述懐

寄水
述懐

寄山
述懐

寄閑
述懐

寄道
述懐

寄琴
述懐

寄玉
述懐

よきまじりたるはなはたのこころはまじりたるまじりたる
逸光

おちんちんおちんちんおちんちんおちんちんおちんちんおちんちん
梅軒

かきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかき
歌城

あかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあか
高之

あかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあか
之流

あかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあか
正明

あかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあか
やまを

あかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあか
寛光

あかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあか
勝成

あかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあか
と成

寄車
述懐

寄舟
述懐

寄木
述懐

寄松
述懐

あかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあか
やまを

あかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあか
昌順

あかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあか
帝典

あかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあか
正明

あかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあか
さむ子

あかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあか
氏壽

あかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあか
文雄

あかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあか
時得

あかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあか
高之

あかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあか
頭忠

寄竹
述懐

寄弓
述懐

往事
如夢

懐
舊

曉懐旧

しらべのしのぶのこころをさくらとてさかすまのしづさをとらふ

清うた

月前懐旧

きよとてうらやまにいらふまよひのこころをさかすまのしづさをとらふ

歌城

社頭

あまのこころをさかすまのしづさをとらふ

游清

社頭水

みづあまのこころをさかすまのしづさをとらふ

茂うた

神祇

かみとらふのこころをさかすまのしづさをとらふ

月箭

いづかたをのりゆきてさかすまのしづさをとらふ

敏成

神祇

清原のこころをさかすまのしづさをとらふ

度九

釋教

せまらうとてのこころをさかすまのしづさをとらふ

正明

阿含修をそとて

あまのこころをさかすまのしづさをとらふ

歌城

無帝

きよとてうらやまにいらふまよひのこころをさかすまのしづさをとらふ

顕忠

あまのこころをさかすまのしづさをとらふ

正席

あまのこころをさかすまのしづさをとらふ

昌順

深観

いづかたをのりゆきてさかすまのしづさをとらふ

さん子

無帝

あまのこころをさかすまのしづさをとらふ

清うた

寄花

あまのこころをさかすまのしづさをとらふ

清うた

先格文皇前御まじりしづさをとらふ

あまのこころをさかすまのしづさをとらふ

逸光

大津所のまのなれをさかすまのしづさをとらふ

あまのこころ

あまのこころをさかすまのしづさをとらふ

高足

志文

志文

正典

志文

季文

志文

志文

志文

志文

志文

貞臣

志文

昌煥

志文

聖謨

志文

顯忠

志文

濱臣

志文

北村

川路

君一タハクニヤクシガクノコノマニナハルヤ 寛光

ちハクニヤクシガクノコノマニナハルヤ

ナニヤクシガクノコノマニナハルヤ 一也

ナニヤクシガクノコノマニナハルヤ

ナニヤクシガクノコノマニナハルヤ 永好

ナニヤクシガクノコノマニナハルヤ

ナニヤクシガクノコノマニナハルヤ 歌城

檢校保正ノナニヤクシガクノコノマニナハルヤ

ナニヤクシガクノコノマニナハルヤ

ナニヤクシガクノコノマニナハルヤ 寛光

ナニヤクシガクノコノマニナハルヤ 光房

ナニヤクシガクノコノマニナハルヤ

ナニヤクシガクノコノマニナハルヤ 尾藤高積

ナニヤクシガクノコノマニナハルヤ

ナニヤクシガクノコノマニナハルヤ 清々々

ナニヤクシガクノコノマニナハルヤ

ナニヤクシガクノコノマニナハルヤ 幸典

ナニヤクシガクノコノマニナハルヤ

ナニヤクシガクノコノマニナハルヤ 歌城

父のナニヤクシガクノコノマニナハルヤ

Am Sums Ompu - BY Oem *Am*

Am Sums Ompu - BY Oem *Am*

Am Sums Ompu - BY Oem *Am*

Am Sums Ompu - BY Oem *Am*

Am Sums Ompu - BY Oem *Am*

雜止八

Am Sums Ompu - BY Oem *Am*

Am Sums Ompu - BY Oem *Am*

Am Sums Ompu - BY Oem *Am*

Am Sums Ompu - BY Oem *Am*

祝

Am Sums Ompu - BY Oem *Am*

寄月祝

もぎやいねんちりてあつても月みるをまことのあさうふ

游清

寄道祝

ひまうしとくふねいみつしゆめつうつらふとんれつうふね

弁玉

寄松祝

かきつらむさしづつせふふやうるま本のねもきやきん

礼本

若木田久守うす平の若く松ねねとつて

けぬふゆえのねいあつんよしのやむたふもさる

やすを

人のかきいしつらむせむる福あまのえはつねとらふと

まみのまゝあむせんふさうつらむらふあむせつうりこ

幸典

寄神祇祝

まごせとやすくいのねのさむかふちんてあひ

永好

ちの人のあま

仍ふる世万世くちんてんてんてんてんてんてんてんてん

游清

雅記

遊心の人たす

あゝまゝいふちんちんちんちんちんちんちんちんちん

梅軒

あひだつらつらつらつらつらつらつらつらつらつらつら

あゝあゝのまゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

武臣

信の舎の舎ふ林後を

あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

頭忠

あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

高之

あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

弁玉

あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

守部

幸逢
太平代

俳諧

子日	かひなきつひのさかすまのついで	歌城
梅	梅のついでにさかすまのついで	頭忠
柳	柳のついでにさかすまのついで	與清
蕨	蕨のついでにさかすまのついで	歌城
花	花のついでにさかすまのついで	頭忠
春人事	春のついでにさかすまのついで	勝成
旅中 更衣	旅のついでにさかすまのついで	光房
蚊	蚊のついでにさかすまのついで	彦九
女郎花	女郎のついでにさかすまのついで	

陸

霧間 草花	霧のついでにさかすまのついで	頭忠
月前雲	月のついでにさかすまのついで	寛光
萩	萩のついでにさかすまのついで	歌城
山寒月	山のついでにさかすまのついで	らん忠
戀涙	戀のついでにさかすまのついで	彦九
老の後	老のついでにさかすまのついで	千引

物名

四宮 河原	四宮のついでにさかすまのついで	彦九
りん	りん	高之
りん	りん	頭忠

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), consisting of approximately 15 lines of calligraphy.

小鴨の
太刀 小鴨の太刀指を
寛光
勘一 新 舟入の
寛光
綿 初志の
定保
衣袴 袴の
寛光

皆冠

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), consisting of approximately 10 lines of calligraphy.

頭 清うら

武藏野集作者姓名録
 一尾武臣 金吾
 稲村三羽 増五郎
 伊庭秀形 久右門
 石川勝良
 萩原宗古
 馬場長英 与兵卫
 秦 全
 桂谿 白暮軒
 馬場龍彦
 飯野百比
 石原正明 喜左門
 磯村俊功 三郎
 石川忠雄
 市河真風 平八郎
 伊能穎則 三左門
 羽田利見 龍助
 白山常操 梅軒
 原 久胤 桂月
 西田忠礼 金次郎
 堀田正敷 棋津守
 堀田正衡 棋津守
 本妙寺 日善

武藏野集作者姓名録

イ	伊藤祐貞	兵庫	一尾武臣	金吾	稲村三羽	増五郎
	石川忠雄		石原正明	喜左門	伊庭秀形	久右門
	市河真風	平八郎	磯村俊功	三郎	石川勝良	
	伊能穎則	三左門	飯野百比		萩原宗古	
ハ	羽田利見	龍助	塙忠宝	次郎	萩原宗古	
	白山常操	梅軒	馬場龍彦		馬場長英	与兵卫
	原 久胤	桂月	桂谿	白暮軒	秦 全	
ニ	西田忠礼	金次郎				
ホ	堀田正敷	棋津守	堀田正衡	棋津守	本妙寺	日善

ム	向山 篤 <small>源太夫</small>	村田春門	村田春野
ウ	村山素行 <small>壽庵</small>	村田了阿	村田芳樹 <small>田勢子</small>
シ	海野幸典 <small>游翁</small>	上村正路 <small>金平</small>	
井	井上文雄 <small>元博</small>	井岡澄子	
才	長田守文 <small>理分</small>	大枝 匡胤 <small>嘉三門</small>	大石子引 <small>源左門</small>
夕	久貝正典 <small>因幡守</small>	熊崎時貫 <small>主水</small>	
ヤ	山本正臣 <small>清溪</small>	山田常典	安田躬絃 <small>一庵</small>
マ	松平定信朝臣	松平忠年 <small>主税分</small>	松下碧海 <small>半物庵</small>
	松崎正虎 <small>左平太</small>	間宮永好 <small>一郎</small>	正木千幹 <small>蔓庵</small>
	前田夏蔭 <small>徳介</small>	馬島清蔭 <small>元眼</small>	

フ	古坂高茂 <small>曹次郎</small>	古河躬行 <small>仁右門</small>	古河智淨尼
コ	小池信行 <small>曹高門</small>	駒沢知幾 <small>義治</small>	
工	江口佐房 <small>仁平治</small>		
テ	寺山吾鬘 <small>虎助</small>	寺山元城 <small>仲</small>	天王寺 <small>海帆</small>
ア	天野政徳 <small>圖書</small>	有田隆方 <small>縫之助</small>	有田光教 <small>忠三郎</small>
	朝比奈真春 <small>昌之分</small>	秋山光彪 <small>庄兵工</small>	朝田弓絃 <small>露田</small>
	朝田弓槻 <small>権之丞</small>	浅野武經 <small>永十郎</small>	酒井忠行 <small>對馬守</small>
ナ	酒井忠丈 <small>隠岐守</small>	酒井勝成 <small>与兵工</small>	酒井金子
	佐藤有藤 <small>定五郎</small>	三田定雄 <small>平之丞</small>	三田礼本 <small>喜六</small>
	三田みどり	桜井文城 <small>宗之助</small>	斎藤彦之助 <small>可於</small>

又	菅沼定敬	菅沼安雄	尾藤積高	高藏
	信濃寺	良之介		
セ	関野泷良	瀨川之子	尾藤積高	高藏
	長室門			
七	森下為臣	森田豊香	尾藤積高	高藏
	来藏	今在門		
匕	土方雄貞	久松祐之	尾藤積高	高藏
	出雲守	幾之介		
	正徳寺	島岡増子	清水濱臣	玄長
	密宗			
シ	新村秀起	信夫顕任	清水濱臣	玄長
	藤兵衛	信五郎		
之	水谷高之	宮氏正亮	妙泉寺	丑元
	左門	正十郎		
キ	北村季文	木村定良	北川正雄	玄長
	再昌院 法印	後藏		

	菅沼斐雄	菅沼安雄	隅田定保	鷗齋
	頼母	市郎兵衛		
	鈴木安寛	鈴木重胤		
	姓氏未詳作者			
	元古	真弓		
	尹香	鬮我		
		某氏 鶴子		
			伴鹿	
			僧弁玉	
追加				
	塙保已一	屋代弘賢		
	檢校	太郎		

